

公務員のホントのところ～兵庫労働局の魅力編～

職場近くにはカレー専門店や中華料理店など、とにかくお昼には困らないそうです！←



助け合いっつ



仲良く頑張っています！

- ⇒左から (写真撮影時のみ、マスクを外しています)
- 3年目監督官Oさん(家で家族と過ごすまったり時間が大好きです♡)
- 3年目監督官Iさん(夏休み、新潟県・福島県までドライブしました)
- 3年目監督官Yさん(最近ジムに週4で通って鍛えています！)

兵庫労働局での監督官生活は充実していますか？

連載第二弾！今回は、労働基準監督官特集です。
インタビュールしたのは、神戸西労働基準監督署に勤める3年目監督官の3名です。

監督官の異動ルールは、2年目までを採用された労働局で勤務したのち、3・4年目を他局で過ごすというもの。
定着局で培った経験と知識を持ってこの春兵庫局にやってきた3名が、兵庫で勤務して感じたことを赤裸々に語ってくれましたので、ご紹介いたします！

I 兵庫での生活、楽しんでいます。私は、実は初めて本州に来て生活しているので、プライベートでは観光地や遠方まで旅行に行ったりしています。監督官の異動ルールでいずれば香川に帰りますが、人生で1度は本州に行きたいと思っていたので、兵庫に来て良かったと思っています。また、仕事ではこれまで一人で監督指導に行くことが多かったのですが、兵庫に来ていろいろな先輩と事業場に行き、たくさんの知識や経験を積むことができているなど実感しています。

Y Iさんに同感です！私は大学生までずっと北陸地域で生活してきました。初めは、関西弁で話を受けるときに、圧？みたいなものを感じていたのですが、最近は慣れてきたのもあって、言葉の端々にフレンドリーさを感じられるようになってきました！本当ですよ！(笑)あと、兵庫局で勤務して驚いたのが、同期が同じ署で3人も勤務していること！自身の定着局には、全体で同期が3人しかいなかったのと同じ監督署で勤務しているのがちよつと不思議な感覚です。

O 同期同士で監督にも行ったよね！わからないことを一緒に調べてくれたり、等身大でいられて結構楽しかったな。

I 私の方面にも1年目職員の方がいて、彼と監督指導に行く機会が多くあります。本来は私が彼の先輩として、私があればこれ調査を進めるべきなんですけど、彼の場合、進んで事業場担当者の方に質問をしたり、「次はこの仕事をやってみていいですか？」と私に聞いてくれるわけです。仕事に対してとても貪欲というか、一生懸命だし、もはや頼りがいを感じつつあります。(笑)

O 私もまだ3年目と若輩なので、偉そうなことは言えないですが(笑)、私が監督官として働くのに必要だと感じているのは、受け答えする能力だと思います。

監督官として働く上で、必ず一度は外部の方からお叱りの声を受ける機会があると思います。それは、相手の話をきちんと理解していなかったりだとか、こちらの法律の説明が分かりづらかったりなどいろいろです。法律の知識を身に着けるのと並行して、使用者・労働者の方と接するうちに受け答えの力も身につけねばと思うことが多くあったので、人と話すことが好きな人、得意な人だと楽しく仕事がしやすいんじゃないかなと思います。

I 私は、後輩を見ていると、やっぱり前向きな方と共に働きたいなと思います。わからないことややってみないことを質問されると結構嬉しくもあるんですよ。じゃあ次はこれを教えてあげよう、こちらにも気合が入るので！
なので、前向きになんでも聞くことができる力は必要だと感じます。事業場に対しても質問する力はとても重要なので、必ず生きてきます。ただ、ずっとエンジン全開は疲れてしまうので、適度に息抜きをしてもいいことも大事ですよ。

Y お二人の言った力はとても大事だと思います。けれど、自分の大学時代を思い出すと、そんな力はなかったような。(笑)なので、私からは気楽な回答ですが、入る前から必要とされる力はそんなにないよと回答します。労働基準監督官の仕事って外回りの仕事が多い社長さんとお話するなど、監督官ならではの事はたくさんあります。もちろん、大変な災害に心を痛めることやお叱りを受けつらい日もありますが、私はこの仕事を楽しくやっていますし、監督官の業務に興味があり、使命感や責任を持って取り組める方なら、ウエルカムです！

最後に！
兵庫に来てよかったですか？
(一同)はい！(人事係)ホッ！



3人は2局目に兵庫局を選び、今年の春に異動して来られました！Oさんは大阪局、Iさんは香川局、Yさんは福井局からお越しですが、皆さん兵庫県での仕事・生活を満喫しているようです。